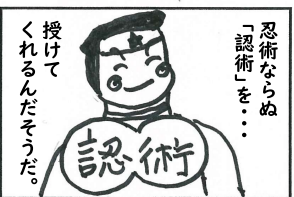
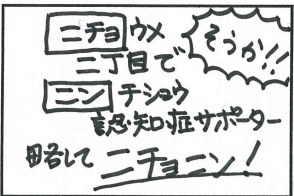




ニンニン!

## コラタン たいの



# コラルト・スタイルとは?

健康問題、経済問題、人間関係など、生活していると多岐にわたる悩みが発生してくるものです。なかでも「お金」と「人間関係」は、大きな要素ではないでしょうか。コミュニティを展開していくうえでも、それらは考慮しなければなりません。今回は「コラルト・スタイル（コラスト＝コラルト流）」として、“現時点での”基本的な方針を2つほどまとめてみました。

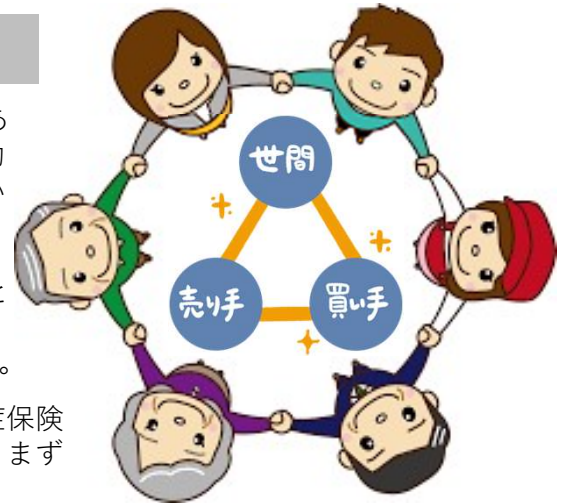
## コラスト① お金との付き合い方

NPOコラルトは利益を追求する法人ではありませんが、社会においてコミュニティ活動を有効に展開するためには、経済を動かす必要（お金の流れ）が自ずと発生してきます。

その際の基本は「三方よし（三方一両得）」と考えています。「売り手よし、買い手よし、世間よし」のWIN-WIN-WINという関係です。

例えば、皆さんが講座を受講して、認知症保険などの必要性を感じたとします。その際に、まずは以下のようなカタチを模索していきます。

- ①保険会社（売り手）：保険商品を販売、保険料収入
- ②コラルト（世間＝コミュニティ）：必要に応じた保険の提案、団体保険事務手続き
- ③みなさん（買い手）：NPOコラルトを通じて団体割引で保険に加入



将来的にはコラルトを通じて、みなさんにとって必要な新しいカタチの保険商品を保険会社に提案する事なども考えられるでしょう。

この「三方よし」は、その角が増えれば増えるほど、△（さんかく）から□と、少しずつ○（まる）に近づいていき、○が動けばぐるりと循環していくこととなります。

昔から「金は天下の回りもの」と言われていますが、お金の真の価値は循環させてこそ、はじめて発揮するものだと考えています。

「情けは人の為ならず、巡り巡って己が（自分の）為」ということわざにもあるとおり、自分のため＝人のためになるような循環をさせることが大切です。

循環による助け合いには、共有する、与える、もらう、交換するなど、いろいろな手段があります。

交換する際にも、感謝（気持ち）を交換、物々交換、お金を交換するなど、さまざまな手法があります。

コラルトでは“必要十分なだけ”のお金を「便利な道具」として活用&循環し、その際に、日本円は「外貨」と考えています。

## コラスト② トラブルメーカーへの対処法

コミュニティの中で、場を乱す人が出てきた場合にどのように対応するのか？

マズローの5段階欲求説は多くの方が知るところだと思えますが、衣食住、生存本能が満たされると、自己承認欲求＝愛されたい、認められたいという思いが出てきます。そして、これをこじらせてしまうと、モンスター化してしまうことがあります。

でも、人間は感情的な動物・・・ときには「やさぐれたとき」もあるでしょう・・・単純なミスなどでも“やらかす”ことはありますよね。

コラルトでは「“こじらせ”や“やらかし”は最大限許容するが、人に度を過ぎた迷惑をかけるような輩（ヤカラ）となってしまった場合はキッパリと排除する」という対応を基本とします。

これは二丁目の飲み屋のママたちが伝統的にやってきたことと同じなんですよ。



もちろん、しっかりと反省するのであれば、再びメンバーとして、成長した姿を見せて欲しいと思います。

どんな活動をするにせよ、その時に基本的な指針となるコンセプトを決めておけば、おのずと方向性は見えてきます。もしそれが残念な結果を招いたとしても、次回からは違ったアプローチができるようになります。

そうやって、心にウソをつかず（そんな今日はエイプリル・フールW）に「心が喜ぶ」ベクトルを調整していくことが、人生を愉しむための秘訣なのかもしれません。（たいこん）

コラルトWEB



公式LINE

